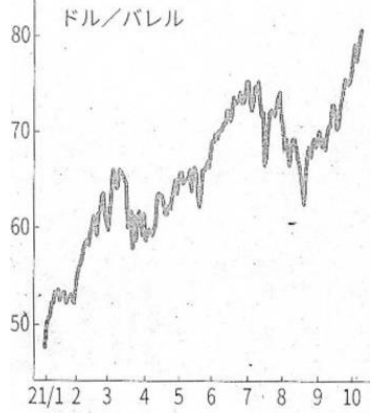


週間国際経済 2021 (34) No.284 10/11~10/17

- 10/11・金融所得課税の強化 首相「当面考えず」 市場の反応配慮か
・円が下落 112 円台半ば 2 年 10 ヶ月ぶり水準
- 10/12・原油一段高 一時 82 ドル NY, 7 年ぶり 冬場の需給逼迫懸念 <1>
・企業物価 13 年ぶり伸び率 9 月 6.3%、原料高が影響 電気料金、強まる上昇圧力
・中国、商用 EV を対日輸出 日本に競合なく 物流の脱炭素に照準
- 10/13・EU, 世界最大の環境債 1.5 兆円 コロナ復興に活用 再生エネや工場 DX 推進
・NY 株 250 ドル安 金利先高観根強く
・米求人 8 ヶ月ぶり減 8 月 1042 万件、なお人手不足 <2>
・米、債務上限の拡大可決 下院も デフォルト当面回避
- 10/14・法人課税 G20 最終合意 最低 15% 物価対策「必要なら行動」
課税の実効性、協調カギ 各国手続きや抜け穴、課題
・中国卸売物価 10.7%上昇 9 月、伸び最大 電力不足で素材高
・中国輸出額 9 月 28%増 数量伸び小さく、海外向け製品に原料高転嫁 <3>
・米緩和縮小 来月中旬にも 9 月 FOMC 要旨公開 来年半ば終了へ道筋
・米金利上昇 通貨揺らす トルコやブラジル 原油高追い打ち <4>
輸入物価上昇、景気悪化も
・米消費者物価 5.4%上昇 9 月 高止まり、品不足目立つ
・排出ゼロ「年 450 兆円必要」 IEA が見解 投資、現状の 3 倍必要
- 10/15・衆院選 成長なき大盤振る舞い 与野党公約、給付金や減税競う
・欧州、エネ高騰で家計支援 支払い一時免除や料金凍結 政治問題化に危機感<5>
・米、今冬のガス代 30%増 世帯当たり平均 8 万 4000 円 ラニーニャで気温低下拍車
- 10/16・トヨタ、来月生産 15%減 東南ア感染響く 長引く半導体不足
・日本の年収 30 年横ばい 米は 1.5 倍に <6>
・中国不動産、恒大以外も調達難 社債市場、強まる警戒
・円安加速、114 円台に 3 年ぶり 経済回復の弱さ映す
- 10/17・米インフレ長期化の恐れ 家賃など上昇、将来予想も 2%超 FRB、警戒強める
・衆院選勝利の壁「3 バン」地盤・看板・カバン 新人勝率 14%、世襲候補は 8 割当選

<1>

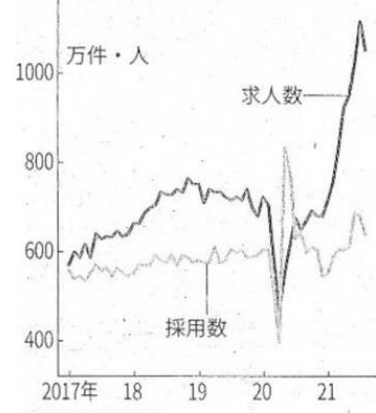
NY原油は7年ぶり高値



(注)日足。終値ベース

<2>

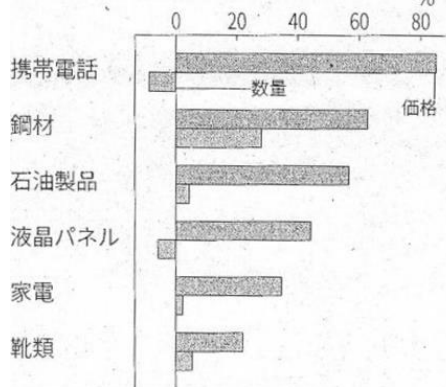
米求人・採用数は減少



(出所)米労働省

<3>

輸出数量は伸びが小さい

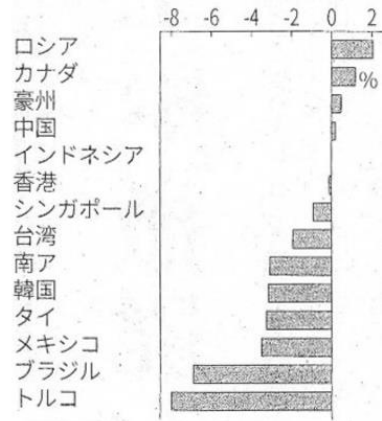


(注)9月の前年同月比伸び率

(出所)中国税関総署

<4>

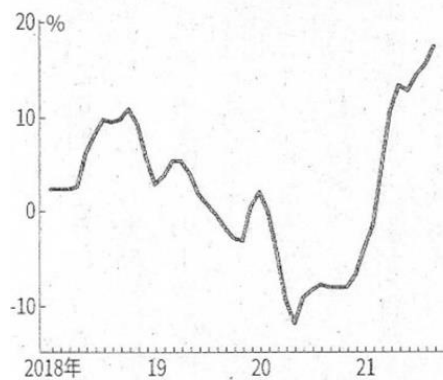
各通貨の対ドル騰落率



(注)8月末と10月12日と比較

<5>

欧州のエネルギー価格は急騰

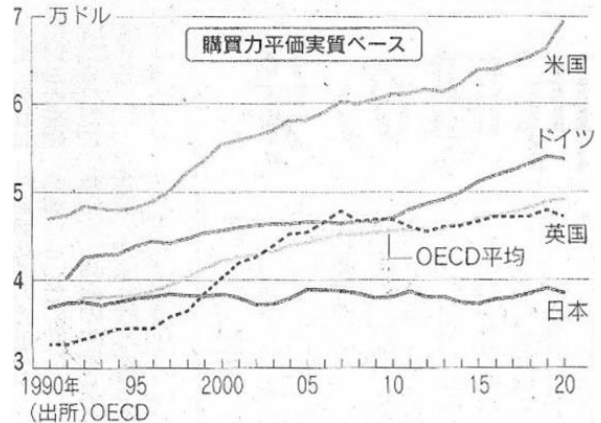


(注)前年同月比、ユーロ圏

(出所)EU統計局

<6>

日本の年収水準は先進国平均の8割弱



(出所)OECD